

五つの夜に (1979)

Л Я Т Ь В Е Ч Е Р О В
CINQ SOIREES

メディア 映画

ジャンル

製作国 ソ連

時間 102分

初公開日 1984/09/15

公開情報 シネセゾン

【解説】

50年代末、スターリンの死で訪れた“雪どけ”の時代のモスクワを舞台に、戦争で引き裂かれ、17年の空白を置いて再会した男女の心のふれあいをしっかりと描く、ミハルコフが「ヴァーリヤ！愛の素顔」と共に自ら愛の二部作と語る、大人の恋愛ドラマ。原作は人気劇作家ボロージンの同名劇曲で主役の男女にはリュブシン、グルチェンコと当代きっての演技派が扮し、中年の恋の豊かな情感を的確に表現している。イリーンは休暇で訪れたモスクワの女友達の部屋で、窓からの夜景を眺めるうち、先の大戦中婚約していたタマーラがこの町にいることを思い出し、17年ぶりに彼女を訪ねる。タマーラは冷めた表情で、泊まっても構わない、と告げるだけだった。翌晩、イリーンは同居している甥と彼女の誕生日を祝おうとするが、タマーラはその祝宴を拒絶。三日目の夜には、イリーンは思い切って彼女に、一緒に北へ行って出直そうと誘うが、タマーラは首を横に振る。二人の間に横たわる歳月は大きかった。しかし、タマーラの胸に再び愛への灯が宿ったのも確かだった。二人の絆は蘇りつつあった……。ミハルコフは「オブローモフの生涯より」の撮影中断を利用して、僅か一カ月足らずで本作を完成。小市民的日常の機微を描いて、豊かなナイーブさを発揮、味わい深い作品に仕上げた。

【クレジット】

監督	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov
原作	アレクサンドル・ボロージン	
脚本	アレクサンドル・アダバシヤン	Aleksandr Adabashyan
	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov
撮影	パーヴェル・レーベシェフ	Pavel Lebeshev
音楽	M・ブランク	
出演	リュドミラ・グルチェンコ	Lyudmila Gurchenko
	スタニスラフ・リュブシン	Stanislav Lyubshin
	ワレンティーナ・テリーチキナ	
	ラリサ・クズネツォワ	
	イーゴリ・ネフェードフ	